

令和5年度郡上市河川水質結果

年4回測定

<基準値>

水域	地域	河川	採水場所	指定類型	-	pH	BOD mg/L	SS mg/L	DO mg/L	大腸菌数 MPN/100ml
長良川 水域	環境基準 類型指定 地域	長良川	吉田川合流地点より上流	AA	-	6.5以上 8.5以下	1以下	25以下	7.5以上	20以下
		吉田川	全域		-					
		長良川	吉田川合流地点より下流	A	-	6.5以上 8.5以下	2以下	25以下	7.5以上	300以下
* 郡上市では上記以外の河川は、水域の類型が指定されていません。										

<結果>

水域	地域	河川	採水場所	指定類型	採水日	pH	BOD mg/L	SS mg/L	DO mg/L	大腸菌数 CFU/100ml
長良川 水域	高鷲	長良川	大鷲堰堤下	AA	R5.8.9	7.6	0.8	1未満	11	36
					R5.10.3	7.6	0.6	1未満	11	42
					R5.12.8	7.5	0.5未満	1	13	24
					R6.2.1	7.4	0.5未満	1未満	12	51
長良川 水域	高鷲	八百僧谷	本川合流前※	-	R5.8.1	7.7	0.5未満	1未満	11	32
					R5.10.3	7.6	0.9	1未満	10	110
					R5.12.8	7.5	0.5	1未満	13	9
					R6.2.1	7.4	0.5未満	1未満	12	27
庄川水域	高鷲	御手洗川	ひるがの処理場橋下	-	R5.8.10	6.9	0.5未満	1未満	10	170
					R5.10.3	7.3	0.6	1未満	10	110
					R5.12.22	7.1	0.5未満	1未満	13	13
					R6.2.1	7.1	0.5未満	1未満	11	45
長良川 水域	高鷲	長良川	町境 (高鷲町と白鳥町)	AA	R5.8.1	7.5	0.5未満	1未満	11	58
					R5.10.3	7.7	1.2	1未満	10	19
					R5.12.8	7.6	0.5未満	1	14	36
					R6.2.1	7.4	0.5未満	1未満	11	67
長良川 水域	白鳥	長兵衛川	本川合流前※	-	R5.8.1	7.7	0.5未満	1	10	400
					R5.10.3	7.7	0.8	1	10	35
					R5.12.11	7.6	0.5	1	12	46
					R6.2.1	7.4	0.5未満	2	11	650
長良川 水域	白鳥	牛道川	本川合流前※	-	R5.8.1	7.7	0.5未満	1	10	95
					R5.10.3	7.6	0.8	1未満	10	8
					R5.12.11	7.7	0.5未満	1未満	12	47
					R6.2.1	7.5	0.8	1	10	72
九頭竜川 水域	白鳥	前川	石徹白川合流前	-	R5.8.10	7.6	0.5未満	1	9.5	40
					R5.10.3	7.6	0.5	1未満	10	15
					R5.12.1	7.5	0.5未満	1未満	13	5
					R6.2.1	7.5	0.5未満	1未満	11	18
長良川 水域	大和	長良川	上万場橋	AA	R5.8.1	7.8	0.5未満	1未満	11	50
					R5.10.3	7.7	0.8	1未満	11	19
					R5.12.11	7.7	0.5未満	1未満	13	14
					R6.2.2	7.5	0.5未満	4	12	22
長良川 水域	大和	栗巢川	本川合流前※	-	R5.8.1	7.6	0.5	3	10	2300
					R5.10.3	7.7	1.2	1未満	12	63
					R5.12.11	7.8	0.5未満	1未満	13	23
					R6.2.2	7.5	0.5未満	1未満	11	20
長良川 水域	大和	大間見川	本川合流前※	-	R5.8.1	7.8	0.5未満	1	10	39
					R5.10.3	7.6	0.5未満	1	12	140
					R5.12.11	7.7	0.5未満	1	13	67
					R6.2.2	7.5	0.5未満	1	12	20
長良川 水域	八幡	吉田川	尾崎水泳場	AA	R5.8.8	8.0	0.5未満	2	9.4	45
					R5.10.3	7.6	0.5未満	1未満	12	52
					R5.12.19	7.5	0.7	1未満	13	96
					R6.2.2	7.6	0.5未満	1未満	11	24
長良川 水域	八幡	亀尾島川	亀尾島橋	-	R5.8.8	7.7	0.5未満	1未満	9.4	31
					R5.10.3	7.6	0.7	1未満	12	34
					R5.12.19	7.4	0.5未満	1未満	13	21
					R6.2.2	7.5	0.5未満	1	13	9
長良川 水域	八幡	長良川	法伝橋	A	R5.8.8	8.0	0.5未満	2	9.0	42
					R5.10.3	7.7	0.5	1未満	11	42
					R5.12.19	7.4	0.5	1未満	13	48
					R6.2.2	7.6	0.5	2	11	62
津保川 水域	八幡	小那比川	市境(戸穴橋)	-	R5.8.1	7.6	0.5未満	1未満	11	26
					R5.10.3	7.5	0.7	1未満	11	33
					R5.12.19	7.2	0.5	1未満	13	4
					R6.2.2	7.4	0.5未満	1未満	12	10
長良川 水域	美並	粥川	本川合流前※	-	R5.8.8	7.6	0.5未満	1未満	9.6	67
					R5.10.3	7.3	0.7	1未満	12	8
					R5.12.19	7.4	0.5未満	1未満	12	11
					R6.2.1	7.7	0.5	1未満	12	3
長良川 水域	美並	長良川	白石橋	A	R5.8.8	7.6	0.5未満	3	8.9	62
					R5.10.3	7.5	0.7	1未満	11	37
					R5.12.19	7.5	0.5未満	1未満	13	10
					R6.2.1	7.6	0.5未満	1	13	130

<結果>

水域	地域	河川	採水場所	指定類型	採水日	pH	BOD mg/L	SS mg/L	DO mg/L	大腸菌数 CFU/100ml
長良川 水域	美並	釜ヶ谷	本川合流前※	－	R5.8.8	7.4	0.5未満	1未満	9.1	65
					R5.10.3	7.3	0.5未満	1未満	12	32
					R5.12.19	7.3	0.5未満	1未満	12	29
					R6.2.1	7.4	0.6	1未満	13	6
長良川 水域	明宝	吉田川	中央浄化センター下流	AA	R5.8.2	7.5	0.5未満	5	11	100
					R5.10.5	7.5	0.5	1未満	11	72
					R5.12.12	7.5	0.6	1	13	250
					R6.2.1	7.6	0.5未満	1未満	13	20
馬瀬川 水域	明宝	弓掛川	市境	－	R5.8.2	7.4	0.5未満	1	10	47
					R5.10.5	7.5	0.5未満	1未満	11	44
					R5.12.12	7.3	0.5未満	1未満	13	27
					R6.2.1	7.4	0.5未満	1未満	12	3
馬瀬川 水域	和良	鹿倉川	荒川橋	－	R5.8.4	8.0	0.5未満	1未満	11	38
					R5.10.5	7.8	0.5	1未満	11	69
					R5.12.12	7.3	0.5未満	1未満	12	200
					R6.2.1	7.4	0.5未満	1未満	13	130
馬瀬川 水域	和良	鬼谷川	横野合流前	－	R5.8.4	7.9	0.5未満	1	10	320
					R5.10.5	7.9	0.5未満	1未満	9.4	110
					R5.12.12	7.2	0.5	1未満	11	780
					R6.2.1	7.0	0.5未満	1未満	12	990
馬瀬川 水域	和良	和良川	上田ヶ瀬橋	－	R5.8.4	7.9	0.5	1未満	9.8	380
					R5.10.5	8.2	0.5未満	1未満	9.2	58
					R5.12.12	7.4	0.5未満	1未満	12	1300
					R6.2.1	7.6	0.5未満	1未満	11	55

※ 長良川の支流であるため、
長良川に合流する前で採水

生活環境項目

水質に係る環境基準のうち、生活環境の保全に関する環境基準の定められている項目で、最も基本的な水質項目です。

pH:水素イオン濃度	pHとは、水の酸性、アルカリ性の度合いを示す数値のことです。pHが7のとき中性で、それより大きいときはアルカリ性、小さいときは酸性になります。酸性、あるいはアルカリ性になると、水利用の支障があるほか、水中に生息する生物に影響を及ぼします。
BOD:生物学的酸素要求量	BOD(Biochemical Oxygen Demand)とは、好気性微生物が有機物を分解するときに消費される酸素量のことです。有機物が多いとBOD値が高くなるため、有機物による水質汚濁の指標として用いられています。BODが高いと、水中では酸素が少なくなり、10mg/L以上になると悪臭の発生などが起こりやすくなります。
SS:浮遊物質	SS(Suspended Solids)とは、直径2mm以下の粒子状物質のことです。SSが多いと水が濁っていたり、外観が悪くなるなどの影響することがあります。
DO:溶存酸素	DO(Dissolved Oxygen)とは、水中に含まれる酸素量のことです。好気性微生物が有機物を分解する際、DOが消費されます。そのため有機物が多いと、DOが少ない状態になります。有機物による水質汚濁の指標として用いられています。
大腸菌数	腸菌数とは、大腸菌を培地で培養し、発育したコロニー数を数えることで算出され、水のふん便汚染の指標として使われる数値です。大腸菌数に用いる単位は CFU(コロニー形成単位(Colony Forming Unit))/100mlで、値が小さいほどヒトや動物からの排泄物による汚染が少ないと言えます